

# 地域の医療供給と公益性

## —自治体病院の経営と役割—

日本の地域医療が、80年代以降の日本のグローバル化の進展の中で、どのような困難に見舞われたのか。自治体病院の職員・労働者が地域住民とともにどのようにたたかってきたか。大震災から何を学ぶことができるか。地域医療を支える財源とは、自治体病院と民間病院である民医連病院との経営比較から見えることは。イタリア・ボローニャの地域医療から何を学ぶことができるか。ワーキングペーパーNo.3（2013年10月発行）も資料として全文再録。

### ○ワーキンググループメンバー（執筆順）

- ・はじめに、第1章  
村口至（代表、東北地方医療・福祉総合研究所理事長、坂総合病院名誉院長）
- ・第2章、資料（ワーキングペーパーNo.3）  
八田英之（研究所副理事長、千葉勤労者福祉会理事長、全日本民医連顧問）
- ・第3章  
山本裕（元自治労連医療部会議長、元京都自治労連副委員長）
- ・第4章  
根本守（公認会計士、協働公認会計士共同事務所）
- ・第5章  
石塚秀雄（非営利・協同総合研究所いのちとくらし主任研究員）
- ・おわりに  
高山一夫（京都橘大学現代ビジネス学部教授）

### 目次

はじめに

第1章 大震災被災地の医療復興とそこに見える問題—公的地域医療を支えることで生み出す価値

第2章 地域医療崩壊の現段階と自治体病院の今後

第3章 地域医療・自治体病院再編の動向と住民・労働組合等の取り組み

第4章 地方自治体病院の財政制度と財政問題

第5章 イタリア・ボローニャの地域医療システムの構造

おわりに

資料（再録）『＜地域医療と自治体病院をめぐる住民運動＞2013/09 第一報』（ワーキングペーパーNo.3）

A4版、160 ページ

ISBN 978-4-903543-13-0

発行 2015年4月30日

頒価 1,000 円

（送料別、10部以上は送料無料）

【問い合わせ先】 特定非営利活動法人 非営利・協同総合研究所いのちとくらし URL: <http://www.inhcc.org/>  
〒113-0034 東京都文京区湯島 2-7-8-2F 電話: 03-5840-6567 FAX: 03-5840-6568 電子メール: [inoci@inhcc.org](mailto:inoci@inhcc.org)

報告書注文票 FAX 送付先: **03-5840-6568** (民医連関係者の方は、保健医療研究所にお問い合わせ下さい)

ふりがな お名前		希望部数	部
〒番号		電話番号	( )
住所			